


事業番号	09 02 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室
		実施期間	H25 ～	E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	【労働生産性】				
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		
	6-2 信州のブランド力向上と発信				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・県内の宿泊施設・飲食店、給食施設等が県産農畜産物の利活用拡大を図り、地域の風土や食文化に根ざした豊かな食生活が普及している。 ・地域資源を活かした6次産業化の取組が各地で展開され、雇用創出や所得向上を通じて地域経済の活性化に寄与している。 ・県内食品企業等が県産農産物を積極的に活用することにより、県産農産物の利用拡大と地域内経済循環が図られている。	
	【これまでの取組】 ・直売所間の商品流通の試行や生産者とホテル、飲食店等を結ぶ地域共同配送システムの取組 ・県オリジナル食材を利用したメニューの調理研修の実施 ・経営改善戦略の作成・実行に取り組み6次産業化経営体への重点的な支援の実施 ・生産者と食品企業を結ぶ専任推進員による県産食材利用意向企業への発注開拓	
令和2年度 点検結果 ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 直売所間の商品流通に向けた情報共有と広域的な販売ルートの開拓 学校給食事業者の県産食材による一次加工品のニーズは高いが、一次加工事業者の情報不足している 新型コロナウイルス感染拡大に伴う業務用需要の激減により事業者に影響が生じており、将来を見据えた経営改善計画の作成や実行に向けた支援が必要 県産農産物の利用意向のある県内食品企業に対し、生産者等とのマッチングの機会が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> 直売所間の商品流通が可能となる輸送方法の検討や地域共同配送システムの取組の広域化と定着に向けた支援 一次加工事業者と学校給食事業者のマッチング機会の提供 経営改善戦略の作成・実行に取り組み6次産業化経営体への重点的な支援の実施と多様な事業者へのスキルアップを促進 専任推進員等による食品企業への発注開拓や生産者との個別商談の実施

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓農産物直売所等を核とした地域内消費の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所等活動ネットワーク(仮称)の設立によるデータベースを活用した直売所間の商品流通に向けたマッチングや輸送方法の検討 農産物直売所の将来を担う意欲ある経営者のスキルアップセミナーの実施 ✓ホテル・飲食店等での県産農産物の利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> 地域の直売所や飲食店への働きかけによる「地域共同配送システム」の取組の広域化に向けた検討支援 ✓学校給食等での県産食材利用拡大に向けたアプローチ <ul style="list-style-type: none"> 一次加工事業者への加工品目、取扱量等の調査 学校給食事業者へのヒアリングや一次加工事業者とのマッチングの支援 ✓地域資源を生かした6次産業化の取組 <ul style="list-style-type: none"> 6次産業化に取り組む支援対象者の経営改善戦略の作成・実行に向けた総合的な支援の実施 6次産業化事業者のスキルアップを図る、新商品開発手法の習得や品質・衛生管理セミナー等の実施 ✓食品産業における県産農産物の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> 県内食品産業の原料ニーズの把握と生産者等とのマッチングの実施 	 <p>6次産業化セミナーの様子</p>
----------------------	---	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					事業 コスト	区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)		R3年度 目標値	R1年度	R2年度	R3年度
1	売上高一億円以上の農産物直売所の売上総額	162億円	163億円	↑	165億円	↑	0	0	要求 118,972 予算案 118,972
2	学校給食における県産食材の利用割合	46.8%	45.8%	↓	46.5%	↑	108,468	110,450	
3	6次総合事業化計画認定件数 6次産業化事業者平均売上額	98件 7,657千円	99件 8,596千円	↑	100件 8,600千円	↑	-44,380	209,149	要求 118,972 予算案 118,972
4							64,088	319,599	要求 2,387 予算案 2,387
5							2,232	2,127	
							決算額(B)		
							59,921		
							2.8	3.1	3.0
	成果指標 設定理由	①直売所の機能強化等により売上高1億円以上の直売所及びその売上額を拡大するために設定。 ②学校現場での食育や食の地消地産の推進による学校給食での県産農産物の利用割合を把握するために設定。 ③6次産業化に取り組む事業者の件数を拡大するとともに6次産業化による売上の増加額をフォローするために設定。 ※目標値:①②は第3期食農計画(2018~2022)の目標値から算出、③は前年実績等に基づき設定							

予算要求からの 主な変更点	要求どおり
------------------	-------

事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室
-----	----------------------	----	-----	-----	-------------

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	
1	信州・食の“地消地産”推進事業	3,412 千円	3,308 千円	要求 予算案	3,678 3,678 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	農産物直売所等を核とした地域内消費拡大事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> データベースを活用した直売所間商品流通のマッチングと輸送方法の検討 ホテル、飲食店等への共同配送システムの検討 農産物直売所等活動ネットワーク(仮称)の設立 魅力ある直売所づくりのためのセミナーの開催(5回) 		
2	学校給食等での利用拡大に向けたアプローチ	委託	<ul style="list-style-type: none"> 一次加工事業者の調査(加工品目、県産農産物の取扱量等) 学校給食事業者へのヒアリング(納入条件、エリア、価格等) 一次加工品事業者と連携し、給食需要のある加工品の開発及び供給体制の構築 商談シートを作成し、一次加工品事業者と給食事業者(納入業者)との商談支援 		

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	
2	地域食料自給圏実証実験事業	549 千円	273 千円	要求 予算案	273 273 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	加工・試作品の評価	直接	<ul style="list-style-type: none"> 小麦加工品、大豆加工品、馬鈴薯加工品、豚肉加工品の試作・開発の実施 小売業者や消費者等を含めた加工品評価の実施 		
2	推進会議の開催	直接	<ul style="list-style-type: none"> 実証試験、加工評価等の5年間のまとめをする実証試験検討会の開催(2月) 		

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	
3	信州農業6次産業化推進事業	104,507 千円	106,869 千円	要求 予算案	115,021 115,021 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	信州6次産業化推進協議会による支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化に取り組む支援対象者の経営改善戦略作成・実行に向けた総合的な支援体制の構築 商品力向上や経営計画作成のためのセミナーの開催 【補助想定件数1件、補助総額23,521千円】		
2	6次産業化推進事業補助金	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発成果の利用促進や6次産業化総合化事業計画に基づく施設整備等を支援 市町村等が主体となって行う食育活動を支援 国の地域食農連携プロジェクトに基づいた民間団体等への支援 【補助想定件数6件、補助総額91,500千円】		